

社会科（地理的分野）指導案

尾道市立長江中学校

指導者 瀬元 翔

1 日 時 令和3年9月15日(水) 5時限目

2 場 所 1年1組教室

3 学年・学級 1年1組（男子19名 女子15名 計34名）

自閉症情緒障害特別支援学級（ひまわり）（女子1名）

4 単 元 名 世界の様々な地域 第3章 世界の諸地域 4節 北アメリカ州

5 単元について

（1）単 元 観

本単元は、世界の様々な地域（2）世界の諸地域の④北アメリカ州に位置づけられる。ここでは、空間的相互依存作用や地域などに関わる視点に着目して、世界の各地域で見られる地球的課題の要因や影響をその地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成することを主なねらいとしている。ここで身に付けたい「知識」に関する事項として、ア（1）「世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解すること」（2）「世界の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解すること」が挙げられる。また、ここで身につけさせたい「思考力、判断力、表現力等」に関する事項として、イ（ア）「世界の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結びつきなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること」が挙げられている。

（2）生 徒 観

本単元に係る、次の項目の事前調査を実施した。（1年1組32名回答）

質問内容	肯定的評価の割合
①自分の考えを全体や友人にわかりやすく説明できる。	65%
②考えを説明する場面では、その理由がわかるように書ける。	76%
③グループ学習では、他の人の意見から新しい発見がある。	97%
④グループ内で交流した意見を自分なりにまとめることができる。	81%
⑤社会科で学んだことは、自分の生活につながっていると思う。	79%

事前アンケート調査では「③グループ学習では、他の人の意見から新しい発見がある。」、「④グループ内で交流した意見を自分なりにまとめることができる。」の肯定的評価の割合が高いところから、グループ学習の中で他者の意見を聞いたり、取り入れたりすることができる生徒が多いことがわかる。しかし、「①自分の考えを全体や友人にわかりやすく説明できる。」の質問項目の肯定的評価は、7割を下回った。また、「②考えを説明する場面では、その理由がわかるように書ける。」という質問項目の肯定的評価の割合もあまり高くないところから、自分の考えを文章にして表現したり他者に伝えたりすることが苦手な生徒の多いことが示された。

（3）指 導 観

北アメリカ州の地球的課題を多面的に理解するために、北アメリカ州の地域的特色として、「農業」

「工業」「文化」の3つの側面を取り上げる。その際、授業の導入では、生徒の知的好奇心を喚起するために、生徒の生活との結びつきをふまえ、北アメリカ州が他国にとって良い影響を与える内容から取り扱う。授業の終末では、北アメリカ州の地球的課題を「農業」「工業」「文化」の3側面に分ける。多面的かつ多角的に考察するために、考察を他国からの視点とし、問い「影響力のあるアメリカ合衆国が抱える課題は、世界をどのように変えてしまうのか？」を基に考察をすすめる。

授業の展開としては、生徒の、「他の人の意見から新しい発見がある」が「他者にわかりやすく説明することが苦手である」という実態をふまえ、個人思考の時間を設けた後、個人の意見を深めるための集団思考の時間を設ける。その際、集団思考の場面においてタブレット端末の機能「Jamboard」を用いオンライン上で意見の交流をする。記述方法のひな型を指定し、記述させることで意見をわかりやすく伝えるための支援をおこなう。

6 単元の目標

(1) 北アメリカ州の自然環境や産業、文化について概観し、それぞれの基本的な知識を身につけている。また、北アメリカ州に関する統計資料や雨温図、写真の比較をおこない、地理的技能を身につけている。

【知識・技能】

(2) 北アメリカ州の学習テーマを追究していく過程において、その地域的特色と地球的課題を多面的・多角的に考察し、その成果を様々な方法で表現している。

【思考・判断・表現】

(3) 北アメリカ州の地域的特色について設定した学習課題に基づいて、主体的に追究しようとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

本校で育成したい資質・能力のうち、本単元で特に育成を目指すのは、「思考力・表現力」、「主体的に学ぶ力」である。

7 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 北アメリカ州で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。 北アメリカ州に暮らす人々の生活を基に、北アメリカ州の地域的特色を大観し理解している。 	<p>北アメリカ州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

8 指導と評価の計画（全6時間）本時6／6

次数	○学習内容 【時数】	評 価			評価規準（評価方法） 【評価項目】
		知	思	態	
第一 次	「北アメリカ州の自然環境」 ○「アメリカ合衆国が、世界で最も大きな影響力を持つのはなぜか予想をたてよう。」 【1時間】	◎		○	・地図や雨温図を活用して、北アメリカ州の自然環境の特色を東西に分けて読み取ることができる。（定期テスト）【知識・技能】 ・アメリカ合衆国の地域的特色について設定した学習課題について、主体的に追究しようとしている。（ノート）【主体的に学習に取り組む態度】
第二 次	「移民の歴史と多様な民族構成」 ○「州によって平均所得が異なるのはなぜだろう。」 【1時間】	◎		○	・さまざまな資料からアメリカ合衆国の移民や開拓の歴史、民族構成の特色について適切に読み取っている。（定期テスト）【知識・技能】 ・北アメリカ州の民族構成や多様な文化について関心を持ち、意欲的に追究している。（ノート）【主体的に学習に取り組む態度】
第三 次	「大規模な農業と多様な農産物」 ○「なぜアメリカ産の野菜は安いのだろう。」 【1時間】	○	◎		・大規模農業や適地適作などの北アメリカ州の農業の特色について理解し、その知識を身につけている。（定期テスト）【知識・技能】 ・アメリカ合衆国の農業が世界の農業に与える影響の大きさについて多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。（ノート）【思考・判断・表現】
第四 次	「世界をリードする工業」 ○「アメリカ合衆国の車の燃費が悪いのはなぜだろう。」 【1時間】	○	◎		・鉱工業の分布図を活用してアメリカ合衆国の工業の特色を五大湖周辺、太平洋沿岸、南部地域に分けて読み取っている。（定期テスト）【知識・技能】 ・アメリカ合衆国が世界に与えるこれからの影響について多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。（ノート）【思考・判断・表現】
第五 次	「世界に広がるアメリカ合衆国の影響」 ○「アメリカ発祥の文化の共通点は何だろう。」 【1時間】	○	◎		・大手ハンバーガーチェーンを事例として、世界中に広がる文化とその影響について多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。（ノート）【思考・判断・表現】 ・アメリカ合衆国の人々の生活や文化の特色を理解し、その知識を身につけている。（定期テスト）【知識・技能】
第六 次	○影響力のあるアメリカ合衆国が抱える課題は、世界をどのように変えてしまうのか。 【1時間】 ◆本時		◎		・アメリカ合衆国が世界に及ぼす影響について、多面的に考察し、表現している。（ワークシート）【思考・判断・表現】

10 本時の展開

(1) 本時の目標

○前時までに見つけたアメリカ合衆国が抱える課題が世界にどんな影響を与えるか考察し、表現できる。

(2) 本時の準備物

・個人記入用ワークシート ・タブレット端末 ・スライド資料 ・テレビ

(3) 本時の主体的な学びを促す手立て

地球的課題を多面的多角的に考察するために、「Jamboard」を用いる。【見所】学習活動4・5

(4) 本時の評価規準

十分満足 (A)	おおむね満足 (B)	努力を要する生徒への手立て (C)
○アメリカ合衆国の農業・工業・文化のいずれかの課題が地球的課題につながることを考察し、その因果関係についても説明している。	○アメリカ合衆国の農業・工業・文化のいずれかの課題が地球的課題につながることを考察している。	○アメリカ合衆国の課題と地球的課題のつながり明確にするために、雛型を用意して提示する。

(5) 本時の学習展開

	学習活動	○指導上の留意点 ◆努力を要する生徒への支援	☆評価規準 (評価方法)
導入	1 前時までに発見したアメリカ合衆国の農業・工業・文化の課題を確認する。	○スライド資料を用いて想起を促す。	
	2 学習課題をつかむ。	○本時の学習課題を示す。	
	影響力のあるアメリカ合衆国が抱える課題は、世界をどのように変えてしまうのか？		
展開	3 前時までの学習を基に地球的課題を考察する。 【個人思考】	○ワークシートを配布する。 ○農業・工業・文化いずれかの側面を選択するよう促す。	
	4 タブレット端末を使って地球的課題を考察する。 【個人思考】	○必要な資料を調べるよう促す。	
	5 「Jamboard」に地球的課題を入力する。 【集団思考】	○グループ編成及び Jamboard の使い方を説明する。 ◆アメリカ合衆国の課題と地球的課題のつながり明確にするための、モデル型	

		<p>を用意して提示する。</p> <p>○「Jamboard」上の記述の中から、地球的課題として適切なものや因果関係が記されているものに印を付け、着目するよう促す。</p>	
	<p>6 グループで出た意見を発表する。</p> <p>7 Jamboard の意見を基に、地球的課題を再考察する。</p>	<p>○印の付いた生徒を発表者とし、生徒の説明を補助する。</p> <p>○他者が考えたものに変えても良いことを伝える。</p> <p>○評価規準を示す。</p>	<p>☆アメリカ合衆国が世界に及ぼす影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。(ワークシート)</p>
まとめ	<p>8 ワークシートに記入した自分の考えを全体に発表する。</p>	<p>○答えが1つでないことを抑える。</p> <p>○ワークシートを回収する。</p>	

(5) 板書計画



